



砥部町

砥部町社会福祉協議会
イメージキャラクター「ホッと君」

平成28年5月1日発行

社協だより

第41号
2016

第11回

砥部町老人趣味の会

芸能部門



日頃の成果。



クロツケー部門 成績発表



第1部		
優勝	準優勝	3位
千足	五本松B	総津A

第2部		
優勝	準優勝	3位
上野A	原町A	大谷B

展示部門



カラオケ部門



第十一回砥部町老人趣味の会を三月九日、十日、十四日に開催しました。高齢者が日頃から励んでいる趣味活動の発表・展示の場として老人クラブが毎年開催しています。「クロツケー部門」では三十チームが参加し、青空の下優勝を争いました。

水墨画、押絵等さまざまな作品の「展示部門」では今年度の出品作品約六十点あり、絵画が多い傾向でした。民謡、大正琴などの「芸能部門」では意気統合した演奏を披露されました。

今年度は、初のカラオケ発表も行い参加された方はマイクを握り締め、精一杯の歌声を披露されました。平年より多くの方が会場までお越しくださり盛大なものとなりました。

学ぶ！
繋がる！

サロン視察研修



平成二十八年三月九日（水）
砥部町ふれあい・いきいきサロン各代表者十九名が今治市菊間町にある「ふれあいステーションきくま」への視察研修を行いました。
毎週水曜日、十時から十五時まで開かれるサロンはボランティアさんの手によって運営されています。他にも「ふれあいステーションきくま」では、年四回の駅市やバラ祭り、盆踊りなどを行っており、菊間町の中心地として、賑わいを見せているとのことでした。



温かいコーヒーをご馳走になり、設立に至った経緯や苦労話などたくさんのお話をお聞かせくださいました。
お世話人さん同士にしかわからない悩み事なども相談することができ、とても充実した視察研修になったのではないかと思います。
視察研修を受け入れて頂き誠にありがとうございました。

NEW

レクリエーション用品

無料で貸し出しいたします。

イベント、サロン等でご活用ください。
事前にお電話頂ければ、ご予約も可能です。
空き状況をご確認ください。

電話 962-7100

ディスコン



めりえセット



仲間入り♪♪♪

ボランティア活動保険のご案内

加入できる方

・ボランティア個人またはボランティアグループ

補償内容

・ボランティア活動中の様々な事故による賠償
・活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
・ボランティア活動中のボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償

補償金額

Aプラン（基本タイプ）300円
（天災タイプ）460円
Bプラン（基本タイプ）450円
（天災タイプ）690円

補償期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで。
4月1日以降の加入は、受付した翌日から平成29年3月31日までとなります。

手続きの仕方

加入申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、掛け金を添えて砥部町社会福祉協議会に提出してください。

お問い合わせ先

砥部町社会福祉協議会
☎962-7100



平成二十七年共同募金運動におきましては、皆様のご協力により、三、八〇三、四八七円の募金をお寄せ頂きました。
ご協力を頂きました皆様に心より厚くお礼申し上げます。
皆様から寄せられました募金は愛媛県共同募金会において社会福祉事業充実のために、県内の社会福祉協議会や民間社会福祉施設及び福祉団体に配分されます。今後とも共同募金運動推進のため、より一層のご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金
実績報告 三、八〇三、四八七円

ありがとうございました

このたび四月一日付けで事務局長に就任いたしました。砥部町の地域福祉の更なる発展のために精一杯努めさせていただきます。それぞれの事業を職員一丸となり力を合わせて取り組んで参りたいと考えておりますので、ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



事務局長
重松 邦和

平成二十八年 事業計画・予算の概要

収支予算

(単位：千円)



収 入		支 出	
勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
会費	1,721	人件費	91,133
寄付金	350	事務費	12,534
補助金	26,381	共同募金配分金事業費	2,601
助成金	240	助成金	1,420
受託金	14,437	固定資産取得	0
事業	12	その他の活動支出	5,234
介護保険等	54,068	分担金	47
障害福祉サービス等	11,630		
受取利息配当金収入	17		
その他収入	2,002		
前期末繰越金	2,111		
収入合計	112,969	支出合計	112,969

【基本方針】

砥部町社会福祉協議会は、地域福祉及び在宅福祉「だれもが住み慣れた町で安心・安全に暮らすことのできる福祉のまちづくり」を基盤とした総合福祉的役割を担う地域の中核機関です。

多様化する福祉ニーズへの対応が求められる中、地域の頼れる存在として、あらためて社会福祉協議会への使命・理念・行動規範を掲げ、役職員の共通認識のもと一丸となって社協運営に取り組みながら住民や地域の信頼を得ていく必要があります。

そのためには、社会福祉協議会が発展強化目標をたてて、事業評価及び組織体制への整備を図りながら、透明性のある適正な事業運営を行うとともに、まだまだ活動が手薄な福祉分野や地域、社会の狭間にある課題に目を向けて積極的に取り組まなければなりません。

地域福祉課では日々、ワーカーの専門性を高めるとともに、地域住民、ボランティア、民生委員、行政、関係団体等と連携強化に努め、地域福祉活動の協働参加、企画の推進を図りながら、「だれもが安心して共生できる社会へ」への実現を目指していきます。

在宅福祉事業においても、コンプライアンスに努めながら、従事者の専門知識・技術向上に日々取り組んでいき、利用者一人一人がその人らしく暮らせるよう、自立支援に向けたより良いサービス提供を行います。

自主事業

理事会・監事会・評議員会の開催

社協会費の推進

砥部町社協発展・強化計画の策定

社会福祉法人連携における社会貢献事業

ふれあい・いきいきサロン事業

地域福祉活動助成事業

福祉教育事業

精神保健福祉事業

地域福祉活動計画策定事業

在宅介護者家族の会(年4回開催)

簡単ヨガ講座事業

イベント資機材貸出事業

レクリエーション施設整備事業

生きがいと創造の事業(大正琴)

広報誌「社協だより」の発行

ホームページ等による福祉情報提供

イメージキャラクターの活用

砥部町社協福祉フェスタの開催

各種研修事業の強化

赤い羽根共同募金運動の実施

赤い羽根共同募金配分事業

ボランティア活動事業

とべ「ホット」けれん事業

居宅介護支援事業

・居宅介護支援事業

・介護予防居宅介護支援事業

・特定住所地介護保険認定調査の実施

居宅介護等事業

・訪問介護事業

・介護予防訪問介護事業

・居宅介護事業(障害者総合支援法)

・重度訪問介護事業(障害者総合支援法)

・同行援護(障害者総合支援法)

・移動支援事業(砥部町地域生活支援事業)

・計画相談支援事業所の設置

まごころ銀行運営事業

在宅高齢者紙おむつ支給事業

在宅重度障害者(児)紙おむつ支給事業

介護機器貸出事業

町内障がい者団体支援

法人後見事業設置 検討



受託事業

砥部町民生児童委員協議会運営事業(町)／生活福祉

社協)／心配ごと相談所事業(町)／福祉サービス利用援助事業(県)

護用品支給事業(町)／老人クラブ連合会事務局運営(町)／一般相談支援事業

所の設置(町)／障がい者区分認定調査の実施(町)／砥部町老人福祉センター

管理／砥部町広田憩いの家管理／手話奉仕員養成講座事業／生活困窮者

自立相談支援事業／介護予防教室事業(町)

スタッフ大募集

募集区

ホームヘルパー(登録)

募集人数

2~3名

資格

介護福祉士、実務・初任者研修修了者(ホームヘルパー1級、2級)、普通自動車免許所有者

勤務日・勤務時間

要相談(土日、祝日歓迎)

賃金等

時給 1,250 円 (土日、祝日 +50 円)

その他諸手当あり

申込方法

履歴書・資格証明書(写)を持参または郵送で提出
持参の場合は、土日、祝日を除く 8:30 ~ 17:30 まで

採用方法

書類選考後、面接及び採用実習後に決定
面接の日程及び採用実習等詳細は、本人へ通知いたします

申し込み

〒791-2132 砥部町大南 719 番地

お問い合わせ

TEL: 962-7100 担当: 三谷まで



訪問未経験、
プランクのある方も大歓迎です！
まずはご相談ください。
職員一同お待ちしております。

ヘルパーだより



みなさんはサービス提供責任者ってご存知ですか？

ケアマネージャーさんが作ったプランを基に訪問介護計画を作成し、ヘルパーさんにお伝えする事がサービス提供責任者である私の仕事のひとつです。

調理で例えると濃い味なのか、薄味なのか。量はどうかかなど利用者様の希望をお聞きし、相談しながら具体的な介護計画を立てていきます。

みなさんはきんぴらを炒めますか？煮込んで煮詰めますか？私は、すまし汁のようなきんぴらを教わった事があります。

また、ある利用者様から教えていただいた卵焼きを自宅で作ってみました。すると子供がとても気に入り、我が家の味になりました。

調理と同じで、誰しも生き方も違い、物の見方も違います。私はこの仕事を通して、新しい人生の引き出しをいただいています。「我以外皆我師」の日々を過ごさせてもらえるこの仕事大好きです。これからもいっぱい教わりながら頑張ります。

サービス提供責任者 野村 芙美

参加してみませんか？

在宅介護者家族の会

研修回数	日程	内容
第1回	《平成28年》 6月23日(木) 10:00~13:00	施設見学と交流会 ＜障害者支援施設「アイル」 福祉施設「はばたき園」＞
第2回	8月25日(木) 10:00~13:00	＜広田地区にて開催＞ 介護教室と交流会
第3回	10月20日(木) 10:00~13:00	講演会と交流会 講師：森川隆 演題：エンディングノートを作ってみよう
第4回	《平成29年》 2月23日(木) 10:00~13:00	介護教室とリフレッシュ会

※随時「社協だより」にてご案内いたします。
皆様のご参加をスタッフ一同お待ちしております。

内容

施設見学と交流会
○障害者支援施設「アイル」
○福祉施設「はばたき園」

日時

平成 28 年 6 月 23 日 (木)
10:00 ~ 13:00 まで

募集人数

20名程度

参加条件

砥部町在住で在宅介護をしておられる方
(※高齢者、障がい者(児))

参加費

無 料

受付期間

平成28年5月2日~6月15日まで

申し込み

TEL 962-7100 担当: 白城まで

第1回



みんなみんなお互い様

あなたの力を地域のために

昨年度に引き続き、アクティブシニアボランティア養成講座を全五回の日程で実施しました。また、昨年度アクティブシニアボランティア養成講座を受講された方も加えた受講生へのフォローアップとして、アクティブシニアボランティアフォローアップ研修会を行いました。



高齢者等が住み慣れた地域の人々との関わりの中で、見守られながら安心して穏やかに暮らせるよう生活等に関するお手伝いができる担い手を養成することを目的として開催した講習会のフォローアップ研修を実施し、町内における生活支援サービス実働推進への一歩といたします。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

みんなみんな！お互い様

とべ「ホット」けれん事業

高齢者・障がい者等が住み慣れた地域の人々との関わりの中で、見守られながら安心して穏やかに生活できるよう、町民の在宅生活支援として、お手伝いしたい人と助けてほしい人をつなぎ、在宅支援及び地域福祉の向上を図ることを目的としています。



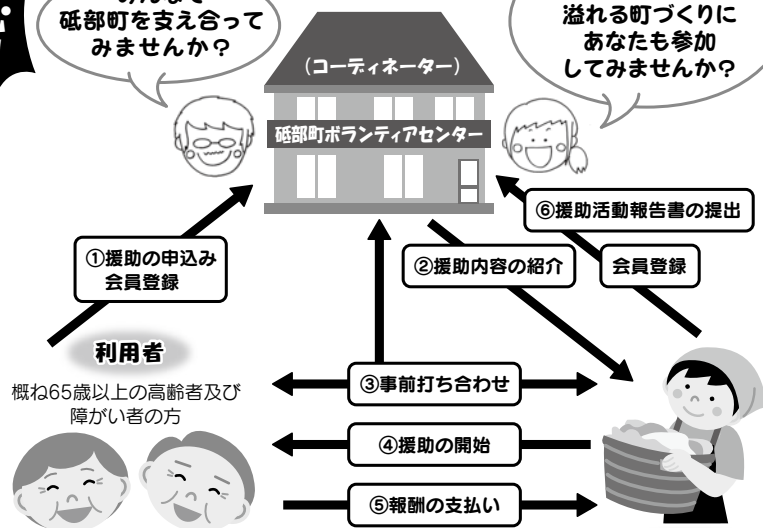
入隊求む!!
『砥部町手伝い隊』

出来ることを出来る時間に、無理のない範囲で地域のためにお力をお貸しください。持ちつ、持たれつの温かい支え合いの町へ砥部町を変身させましょう。

それに伴い、利用者も募集しております。砥部町在住の概ね六十五歳以上の高齢者及び障がい者のうち、センターが援助を必要と認めた方が該当します。一度ご相談ください。

みんなで砥部町を支え合ってみませんか？

「ありがとう」が溢れる町づくりにあなたも参加してみませんか？



★とべ「ホット」けれん事業の利用の流れ★

- ①援助の申込み（利用者→砥部ボランティアセンター）
- ②援助内容の紹介（砥部ボランティアセンター）
- ③事前打ち合わせ
- ④援助の開始
- ⑤報酬の支払い（利用者→手伝い隊）
- ⑥援助活動報告書の提出（手伝い隊→砥部ボランティアセンター）

報酬額

- ・30分未満 200円
- ・30分以上1時間未満 400円
- 以上30分ごとに積算
- 交通費：1回の訪問につき200円

砥部町ボランティアセンター
イメージキャラクター「とべと」

お問い合わせ ☎791-2132 砥部町大南 719 番地 TEL: 962-7100 FAX: 962-7186
砥部町社会福祉協議会 砥部ボランティアセンター

くらしの相談支援室

を開設しています

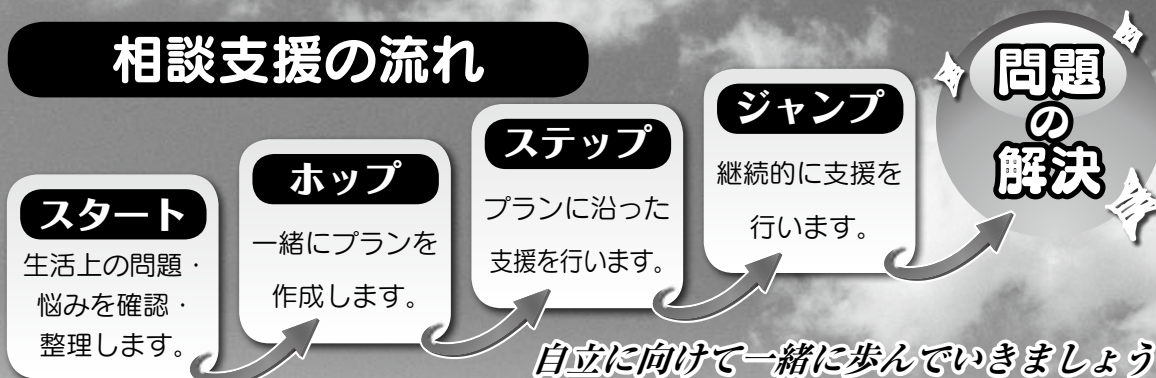
この相談窓口は、平成 27 年 4 月に施行された
「生活困窮者自立支援法」に基づき開設しています。

仕事や生活上の様々な理由で経済的に困りの方のご相談をお聞きし、
各種関係機関と連携しながら、共に考え、それぞれの状況に応じた支援を
行います。ひとりで悩まずにご相談ください。

～こんなことで困っていませんか？～



相談支援の流れ



❀ 相談無料
❀ 秘密は守ります

一緒に考えます！！
まずはお気軽にご相談ください！



お問い合わせ
ご相談先

砥部町社会福祉協議会 くらしの相談支援室
TEL : 089-962-7100 FAX : 089-962-7186
メール : info@tobe-shakyo.jp

くらしの相談支援室
協力企業さん
大募集 !!

食材提供



職業体験



居場所作り



～孤立と貧困を放置しない砥部町をつくるために、ぜひご協力ください。お気軽にお問い合わせください。～

シリーズ⑥

あの人・とべ人



一般社団法人
愛媛県LPガス協会青年部
部会長

伊須 雅裕 さん

Q 伊須さんについて教えてください。

生まれてすぐに砥部町民になりました。23歳のころまでは砥部町外で仕事をしていましたが、24歳くらいに砥部町に戻ってきました。叔父が経営していた門田ガスを現在引き継いでいます。麻生小学校、砥部中学校に通い砥部町と共に成長してきました。

Q 現在どのような活動を行っていますか。

子どもたちへ「火育」を行っています。「火育」を通じて火の危険性や発火・消火のやり方など現代の子どもたちへ火の使い方を伝えており、年間四回くらい学校や地域へ出向き実施しています。授業では学べないことを、自分がこつこつと団体に所属しているからこそ教えていきたいと思っています。家庭から「火」を絶やさないといいことを伝えていきたいですね。また、ガス事業者として「火のある文化をずっと守っていききたい」と思っています。

Q 今度、愛媛FCのホームゲームのときに「火育」を行うと伺ったのですが

はい、9月25日のホームゲームで実施します。また、砥部町の活性化にも力をいれています。せつかく三千人以上の人が砥部町に集まってくるのにこれ以上のアピールの場はないですね。地域コミュニティの場として愛媛FCの試合観戦はすごくいいものになると思います。徒歩や自転車で行くことができるし、試合を見ることで集う場所になる。家から出て行くことで健康増進にも繋がると思っています。まずは愛媛FCの実施しているオレンジ化計画に未来会議として協力をし、町内、国道沿いにお住まいの方や企業さんなどをお願いをし愛媛FCの旗を立てました。次の計画としてホームゲームの日程をわかるように町内に掲示していければと考えています。愛媛FCの試合観戦が外部の人と砥部町民とが繋がることのできる発信拠点になればいいなと思います。

Q これからの担う次世代の砥部町民へ一言

地域貢献した後や、ボランティア後のビールは格別によまい！（笑）この一言です。ボランティアをしようと思いつくと難しい。したいことをする！それが最終的に社会貢献へ繋がっていくものだと思います。こうなったら楽しいと自分が思うことを形にしていき、自発的に事を動かしていった結果です。動かないと何も変わらないと感じます。

Q 伊須さんの砥部町未来予想図とは！

民間の力で地域を活性化できたらいいことではないですね。みんなが自発的に砥部町をアピールしていき、住民レベルの観光アピールをしていきたいと思います。砥部町の観光資源を最大に知ってほしいです。隠れたお宝がたくさん眠っているのぜひ呼び起こしたいですね。

社会福祉法人にできること



域では、どのような福祉現状があるのか、そこから生じる課題を社会福祉法人の立場として、今後どのような「社会貢献活動」に取り組んでいけるかを検討し、情報共有の場や関係づくりの場を兼ねた勉強会の実施をしています。



誰もが安心・安全な地域づくりを目指して

平成二十八年一月二十七日（水）
「平成二十七年年度 社会福祉法人連携による社会貢献事業勉強会」を実施いたしました。コーディネーターとして聖力タリナ大学人間健康福祉部 准教授 高杉公人氏にお力をお貸し頂きました。

今、社会福祉法人に対して「社会貢献活動の義務化」が基本事項として盛り込まれることとなった中、改めて社会福祉法人の存在意義を明確化し、身近な地域では、どのような福祉現状があるのか、そこから生じる課題を社会福祉法人の立場として、今後どのような「社会貢献活動」に取り組んでいけるかを検討し、情報共有の場や関係づくりの場を兼ねた勉強会の実施をしています。

平成二十八年年度 社協会費のお願い

砥部町社会福祉協議会では、「誰もが安心して、暮らし続けられる福祉の町づくり」を基本理念とし、住民のニーズにあった地域福祉・在宅福祉の事業推進に努めております。行政の補助金・受託金、共同募金、寄付金及び社協が実施する介護保険事業の収益を財源とし、事業を展開しておりますが、より一層の充実強化を図るため、皆様の協力のもと会員制度を設けております。住民の皆様からお預かりした貴重な社協会費は、地域福祉事業の重要な財源として地域に還元されています。

会員制度設置の趣旨をご理解いただき、社協会費についてより詳しくお願い申し上げます。

併せて、区長さん・組長さんには会費集金についてご迷惑をおかけいたしますが、本年度もご協力よりしくお願いいたします。

一般会員 100 3000円

特別会員（無志家団体施設）100 10000円

※ 会費につきましては、全戸にご協力を願っています。組入りされていない方でご賛同いただける方は、砥部町社会福祉協議会まで直接納入をお願いいたします。

※ 詳細は砥部町社会福祉協議会事務局までお問い合わせください。

☎962-7100

ご協力よりしくお願い申し上げます。



ホッと君の正体は・・・！？

やあ！
砥部町社会福祉協議会
イメージキャラクター
「ホッと君」です。

妖精？
ハチ？
パンダ？
セミ？

ほたるだよ！！
めっちゃほたるだよ！！
ほたる以外にも砥部焼、
みかん、梅の特徴を
兼ね備えているんだよ！！
ホッと君は
砥部焼



あなたの声をお待ちしてます

社会福祉協議会に関する
みなさんからのご意見、
ご質問がありましたら
事務局までご連絡
ください。



砥部町社会福祉協議会
イメージキャラクター「ホッと君」

町民の皆様からの善意
の寄付（金品・物品等）を
お預かりしています。
お寄せいただいた善意
は、預託をされた方のご意
思に基づき、高齢者や障
がい者の福祉事業や、ボラン
ティア活動など、広く社会
福祉の推進に役立ててい
ます。

芙蓉メンテナンス株式会社様
山本 良一様
砥部焼陶芸館様

一般寄付

平成二十八年一月～
平成二十八年四月
（順不同・敬称略）

あたたかい善意を
ありがとう
ございました。

砥部町まごころ銀行

発足！

砥部みらい会議（平成27年7月発足）

わが町砥部町の福祉・観光・産業など様々な
分野の活性化とネットワークの構築から、今あ
る資源・人を元気にする、魅力ある砥部町の発
信をしていくことを目的とし活動を始めまし
た。現在メンバーは7人。「まずはやれること
をやってみよう！」を合言葉に、「居場所」「陶街道」「えひめ国体」「愛媛FC」
を活動のキーワードにしています。



今後の活動は、地域のイベントへの参加や8月11日
の愛媛FC砥部町マッチタウンデーで、砥部町のPR活
動など企画中です！

地域を元気に！砥部町に人を呼び込もう！とスタート
したばかりです。チーム部会には誰でも参加できます。

お問い合わせ 砥部みらい会議：090-8285-7604（代表 村上）



心配ごと相談所日程

生活上の悩みごとや心配ごとなど一人で抱え込まず、まずは相談して
みてください。民生委員や社会福祉士など地域福祉関係者が心配ごとを
真摯にお聴きします。法律的なご相談の場合は、「弁護士」や「司法書士」
（相談料は30分以内無料ですが、30分を超えた場合は費用が必要になり
ます。）をご紹介します。

※ 秘密は固く守られます。電話でも随時相談ごとを受け付けております。

☎962-7100

開催場所	開催時間	5月	6月
広田老人憩いの家	午前10時 ～ 正午		7日(火)
老人福祉センター		2日(月)	
中央公民館			22日(水)
老人生きがいの家		17日(火)	



「やさしさ」を抱きしめよう

編集・発行 社会福祉法人 砥部町社会福祉協議会

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南719番地
（砥部町老人福祉センター内）

TEL (089) 962-7100 / FAX (089) 962-7186

メールアドレス info@tobe-shakyo.jp

ホームページアドレス <http://www.tobe-shakyo.jp/>

